

「町長室」 出前懇談会を開催

自治力・財政力・行政力 問われる自治体3つの“力”



2月9日から2月23日まで、町内9会場で、累積赤字解消後3つの共通課題「①健全財政の維持」「②公共・行政サービス水準の維持向上」「③地域の活性化」への共通理解を深め、町ぐるみでその克服や解決を考えるまちづくりをめざす『町長室』出前懇談会』が開催され、149名の町民の皆さんに参加いただきました。

今回の「町長室」出前懇談会では、『町の財政状況について』、『高齢者の見守り・声かけ運動』へのご協力について、『海洋センターを活用した地域コミュニティの再生に関するモデル事業について』の3つの共通テーマと、地域ごとのテーマについて、町長や町担当課職員からの説明と町民の皆さんへの協力要請があり、参加者から活発な質疑や意見が交わされました。

町民の皆さんからいただいた質疑や提言などは次ページに掲載しています。町からお伝えした3つの共通テーマの概要は次のとおりです。

1 町の財政状況のその後

3つの共通課題に沿って、町

開催日程・出席者数

月日	会場	対象地区	参加人数
2月9日	余別地区コミュニティセンター	余別町	20名
2月10日	神岬会館	神岬町	13名
2月15日	総合文化センター	美国町	17名
2月16日	入舸会館	入舸町	12名
2月17日	婦美会館	婦美町丸山	11名
2月18日	日司生活改善センター	日司町	25名
2月19日	野塚地区ふれあい交流館	野塚町	28名
2月22日	来岸会館	来岸町西河町	11名
2月23日	幌武意寿の家	幌武意町	12名
9日間	9会場	11地区	149名

※参加人数は議員を含む

の財政状況等の解説が行われました。特に「③地域の活性化」では、今年度策定した「積丹町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」の概要と、地方創生関連交付金を活用した事業展開などを紹介しました。

2 「高齢者の見守り・声かけ運動」にご協力を！

町では、高齢者単身世帯や高齢者夫婦世帯などの「孤立死」や「認知症」などの様々な異変を地域の見守りにより早期発見し、役場の地域包括支援センターで早期対応に努めるべく、

平成25年11月から「高齢者の見守り・声かけ運動（名称・高齢者見守りネットワーク）」に取り組んできました。

協力員や協力機関、地域の皆さんの協力のもと、この取組の成果は既に出始めていますが、事業の推進にあたり「取組の認知度が低い」「玄関にステッカーを掲示している世帯が少ない」「個々の役割（見守り方法）が分からない」などの課題も抱えています。

懇談会では、これらの課題解決に向けた協力と高齢者宅に異変（※1）を感じた際の情報の

たくさんの貴重なご意見・提言をいただきました

町が行財政に関する主なご意見・提言

- 特別養護老人ホームの入居基準は？
- 官民連携した地域振興策の発案を！
- 公園整備などに子育て世代の意見反映を！
- 外国人観光客対策として多言語化案内板等の整備を！
- 人口減少問題への対策は？
- T P Pが本格化するが、一次産業を守る政策は？
- 「岬の湯」の赤字対策を考えなければいけない。
- 外国語指導助手（A L T）の更なる活用をしては？
(観光事業者の外国語教室など)
- 出前懇談会の参加者増加に工夫を！
- 空き家解体などの対策について検討を進めてほしい。
- 墓地連絡道路整備を！
- 町民アンケートなどの実施はウニ漁の時期を避けてほしい。
- 安全対策としてハンターが山に入るとき等 IP 周知を！
- 地区会館の補修を！
- 漁港の整備促進を！
- 高齢者の異変に気づいた時の土日祝日の連絡方法は？

※この他にも多数のご意見・提言をいただきました。町民の皆さんからいただいた貴重なご意見は今後の行財政運営に役立ててまいります。

※1 次の場合は包括支援センターに情報提供をお願いします！

緊急事態が想定される状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ポストに新聞や配達物が数日分溜まっている。 ・数日間カーテンが閉まったままである。 ・チャイムを鳴らしても出てこない。 ・電話をかけても出ない。 ・部屋の電灯が点灯したままである。 ・除雪の際に顔を見なくなった。 など
日常生活に困難が目立つ状況	<ul style="list-style-type: none"> ・会話中も物忘れが目立つようになった。 ・家屋内を片付けられなくなった。 ・言動、服装などが気になる。 ・金銭管理など身の回りの事が大変そうである。 ・食事がとれていない様子である。 など

■活動量計

歩数や消費カロリーだけではなく、家事や階段の昇り降りなど日常生活の様々な運動量を測定し、1日の総消費カロリーなどを測定できるもの。



▲腕時計型



▲万歩計型

(注) 写真は活動量計の一例です

※2 万歩計等の購入助成制度

購入時の領収書と印鑑、金融機関の振込先口座番号を持参し、住民福祉課で手続きを行ってください。

購入額	助成額
2,000円未満	購入額の1/2
2,000円以上 5,000円未満	購入額から1,000円を 差し引いた額
5,000円以上	4,000円

提供を呼びかけました。

3 海洋センターの新たな高度利用をめざして

海洋センターでは、B & G財団の支援のもと「地域コミュニティの再生に関するモデル事業」を進めています。

この事業は、海洋センターをこれまでのスポーツ振興と健康増進の場だけではなく、「地域コミュニティの拠点」として多目的高度利用を目指すもので、全国390の海洋センター所在自治体のうち、当町と熊本県湯前町のみがモデル自治体として

選ばれ、町では次の3事業を実施しています。

■レツトライB & Gキッズ広場事業

海洋センター内にキッズスペースや視聴覚教育機材、書棚と書籍を設置。子育て中の母親が集い、交流が生まれるなど、早くも効果が出ています。

■B & Gいきいき・たまり場事業

海洋センターロビーで気軽にくつろいでいただけるよう、テーブルやイスを設置。読書など、幅広い用途で利用いただいています。

■B & Gはつつウォーキング事業

健康増進講演会を実施するとともに、万歩計に似た「活動量計」を使用して一日の総運動量を測定し、健康への意識を高めていただく事業です。

この活動量計は海洋センターで貸出(限定50台)しているほか、住民福祉課で実施している万歩計等の購入助成制度(※2)も利用することが出来ますので、これらの事業を有効活用し、健康増進に努めていきましょ